

横浜市小学校社会科研究会

5 学年部会

## 研修会記録

第 4 号

令和2年 12月 2日

横浜市小学校教育研究会

会長 相澤 昭宏

横浜市小学校社会科研究会

会長 梅田 比奈子

同 学年部長 引田 雄士

【提案日】

11月 4日（水）

【会 場】

横浜市立平沼小学校

ミニ提案 栗田 一輝 先生（山下みどり台小）

提案 板山 涼 先生（中尾小）

司会 益満 順也 先生（三ツ沢小）

記録 能登 清仁 先生（阿久和小）

### ●ミニ提案 栗田先生

視点①について

協議内容：「単元を見通す学習問題」の成立について

- いろいろな意見が出て、広がりすぎてもよいのではないだろうか。
- 発問から狭めて焦点化をはかる。
- 疑似体験からどうなっているのだろうかとつなげていく。

などの意見がでました。

### ●提案 板山先生

視点②について

協議内容：「本気の学習問題を追究し、社会的事象の意味に迫る授業づくり」について

- どういう思いをもって取り組みを続けていたのかという視点にむければ人の営みに注目して考えることができたのでは。
- 9mmと13mmで考えるのであれば、9mmの方についても考えればもう少し深く考えることができたのでは。
- Sさんは成立するまでの4年間で長いと思ったのか、どのように感じていたのか。

### ●指導講評 横浜市立下野庭小学校 黒木校長先生

- 児童がもっている知識や、興味・関心から見通しをもたせることは大切。
- 「人の営みに学ぶ」をどのように学ぶのかが大事。
- Sさんのことを横浜市の財として残しておくこともよいのではないだろうか。
- 提案資料をよく読みこむことで、今後の授業改善につなげてほしい。

文責 板山 涼 （中尾小学校）